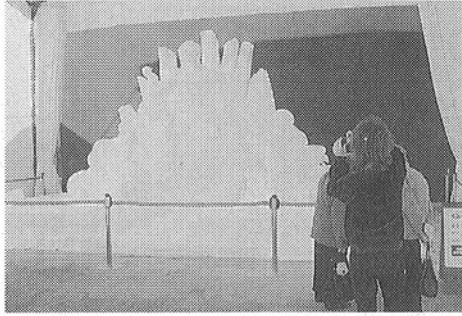


巨大塩像のタイトル「結晶」



## 赤穂に巨大塩像

### 日本海水が協力

11月に行われた「まるごと赤穂大博覧会」で、塩の巨大塩像が制作された。協力は日本海水赤穂工場。巨大塩像は高さ3・5m×幅7m×奥行き4mの塩の塊をもとに、彫刻家2人（保坂俊彦氏と戸津真也氏）が彫刻した。今回の博覧会のテーマ

「赤穂の塩」に則り、最大の目玉として制作されたもので、総重量57tもの赤穂の塩を使用した。ほかにも「まるごと赤穂ソルトアート」と題して、塩を原料にしたソルトアートコンテストや、塩かまぐら、塩アイスが登場。使用後の塩はすべて工業塩としてリサイクルされるという。